

ウリハッキョの卒業式が朝鮮新報に紹介されました

ウリハッキョの卒業式が3月30日号の朝鮮新報3面(朝鮮語版)と8面(日本語版)に紹介されました。

以下は日本語版の記事です。尚、朝鮮語版にはより詳細な記事、数枚の写真、参加した同胞たちのインタビューも掲載されています。ぜひご覧ください。

福島初中卒業式及び修了式が20日に同校で行われた。総聯福島県本部の張泰昊委員長、同校の金政洙校長をはじめとした同胞と保護者、在学生と教職員らが参加した。

この日、初6の金昶耦さん、中3の鄭知晃さんが卒業を迎えた。式は新型コロナウイルスの影響で例年より内容や規模が縮小されて行われたが、二人の門出を祝うために県内外からおおよそ50人の同胞らが駆け付けた。

2人の卒業生は同胞らの温かい祝福をうけながら晴れやかに入場した。式では金政洙校長が学事報告をし、卒業生たちに卒業証書を手渡した。その後、表彰や記念品の贈呈、卒業生による決意表明などが行われた。

中級部を卒業した鄭知晃さんが初級部に入学したのは東日本大震災が起きた11年。原発事故などの影響により1年生のころから3年間、新潟初中で学校生活を送った。

知晃さんの父親・鄭明成さん(43)は当時を振り返り「新潟の同胞や学校関係者の温かいサポートのおかげで安心して息子を送ることができた」とし、「新潟と福島での9年間で受けた恩を返せるようこれからも一生懸命学んでほしい」と期待を込めた。

新学年度から茨城初中高高級部に進学する知晃さんは、宝塚保養キャンプや運動会などの思い出について話しながら「いろんな人に支えられて楽しい学校生活を送ることができて感謝の気持ちでいっぱい。茨城朝高でも勉強や朝青活動に全力で取り組みたい」と決意を述べた。

各支部の花見について

連日報道されている通り、新型コロナウイルスの感染が未だ収まらない状況です。先日お伝えした通り、浜通支部では行わない決定をしたものの中通と会津の各支部では役員たちが同胞たちのための最善はなにかと討議を重ね、その結果今年中止するという結論に達しました。楽しみにしている同胞たちを考えるととても残念ですが、皆さんの健康を考えてこのような結論になったことをご了承ください。

今週の放射線量 (ハッキョ自動測定器)

23日(月)	0.101	27日(金)	0.084
24日(火)	0.081	28日(土)	0.086
25日(水)	0.088	29日(日)	0.080
26日(木)	0.090		

4 / 1	2	3	4	5	6	7
水	木	金	土	日	月	火
チョチョン本部 会議		浜通アドン教室			ハッキョ中級部 入学式	中通支部会議